

2023年3月29日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 セ キ ュ ア
代 表 者 名 代表取締役社長 谷 口 辰 成
(コード番号:4264 東証グロース)
問 合 せ 先 取 締 役 佐 藤 仁 美
経 理 財 務 部 長
(TEL.03-6911-0660)

上場維持基準の適合に向けた計画

当社は、2022年12月31日時点において、グロース市場における上場維持基準に適合しない状態となりました。下記のとおり、上場維持基準の適合に向けた計画を作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の2022年12月31日時点におけるグロース市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっており、流通株式比率については基準に適合しておりません。当社は、下表のとおり2025年12月末までに上場維持基準に適合するために、次の通り取組を進めてまいります。

	株主数	流通株式数	流通株式 時価総額	流通株式比率
当社の状況 (2022年12月31日時点)	1,900人	11,162単位	9.2億円	23.6%
上場維持基準	150人	1,000単位	5億円	25.0%
計画期間	—	—	—	2025年12月末

※当社の適合状況は、東京証券取引所が2022年12月31日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

2. 上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針

上場維持基準の適合に向けては流通株式比率の改善が課題であり、必要な資本政策を適時に実行することで上場維持基準への適合を目指していく方針です。

3. 上場維持基準に適合していない項目ごとの課題と取組内容

創業者であり当社代表取締役社長谷口辰成及びその近親者で 57.9%の当社株式を保有していることなどから、流通株式比率が 23.6%となっており、基準である 25%を下回っております。

流通株式比率 25%以上を達成するための具体的な施策につきましては、大株主等による売却を前提としておりますが、具体的な時期、手法については株価への影響を勘案したうえで決定することとし、開示すべき事項を決定した際には速やかに公表いたします。

なお、既存株主や市場環境への影響を総合的に勘案し、市場への影響を最小限に留めながら、段階的に株式を売却し流通株式比率の向上に取り組んでいくことが望ましいと考え、計画期間を 2025 年 12 月末までといたしました。

以上